

見える化 企画案

1.見える化企画の概要

みどりアップ計画、みどり税をわかりやすく伝える手法を検討します。

市民に開かれたフォーラムや市民参加型のイベントの開催により、情報提供と市民意見の把握を行いみどりの創造と保全に係る取組のすそ野を広げます。

企画ごとにターゲットとなる年齢層などを明確にし、個々の企画を立案します。

2.見える化企画関連のこれまでの取組

- ・リーフレット「横浜みどりアップ計画と横浜みどり税」の作成
- ・みどりのオープンフォーラムの開催(平成 22～25 年度)
- ・こどもフォーラム「まちもり探検キッズ」開催(平成 27 年度)

概要:

平成 28 年 3 月 12 日、にいほる里山交流センターで開催。広報・見える化部会による「子ども向けリーフレット」作成を契機とし、身近な緑について語り合うフォーラムを開催。

- ・アンケート調査実施(平成 30 年度)

概要:

2018 年 4 月 21 日、里山ガーデンにて市民推進会議のブースを出展。市民推進会議のこれまでの活動をパネルを展示するほか、来場者にアンケートを実施し、身近な緑について直接市民の声を聞くことを目的に実施。

アンケートの結果

・8 割の方が「市内のみどりに触れたり感じたりする機会がある」と回答

・自由意見

今ある横浜の緑を残してほしい／みどり税は知らなかったが、緑は好きなので活用してほしい／身近な里山の自然をそのまま楽しめたり、再生するようにしてほしい など

- ・市民参加型の調査部会の開催(平成 27～30 年度)

概要:

年1回開催される市民推進会議委員による調査部会に、一般市民の参加を募り、市民と一緒に現場視察を行い、意見交換を行うことで、直接市民の声を聞くことを目的に実施。

3.これまでに提案された見える化の案

- ・ みどり税を活用している現場の写真を使ったカレンダーの作成・配布(ウェブ配布も)
- ・ プレート作成(取組の説明や、樹林地、農地などの適正な利用を啓発するプレート)

4.これからの見える化企画 検討案

(1)市民参加の企画

全体スケジュール(案)

開催する企画案の決定…年度内

企画の具体的な活動…令和2年度以降

企画(案)

- ・市民参加型の調査部会の開催(市民との意見交換)
- ・景観の絵画コンクール
 - みどりアップ計画に関連する景観であることが必要(市民の森や水田など、対象を限定するなど)賞はどうするか。
- ・緑に関連している人へ実態、意識調査分析
 - どんなことを聞きたいか、対象をどうするか。

(2)市のホームページへの意見・提案

見やすく伝わりやすい情報発信のため、市のホームページへ市民目線の意見を提案する。

全体スケジュール(案) 随時

企画(案)

- ・Instagramを利用した若い世代への魅力発信→みどりアップ推進課が準備中
 - インスタを活用した企画が何かできれば!
- ・カレンダーの作成
 - 何を伝えるカレンダーにするか。配布時期が限られる?
- ・みどりアップ計画「横浜の地図」の作成
 - どの事業を地図に掲載するべきか、絞る必要がある。
- ・一人から始められるみどりづくり・アプローチを体系的に分かりやすく表す冊子や web ページの作成
 - どんな人に配布することを想定したものにするか、事業を絞るか。 他